

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	唐津市立厳木中学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度よりも改善した項目もあり、教師の努力と知恵が生かされて活動をすることができた。また、今年度もコロナ禍で中止や規模縮小を余儀なくされたが、形を変えながらも多くの取組を実施することができてよかった。 ・次年度も生徒たちの学力向上を目指した指導方法の工夫や悩みを持つ生徒への対応に力を入れた取組を行ってきたい。 ・地域と連携した体験活動については一定の成果が出ており、今後も継続するとともに、コロナ禍の5類引き下げに伴い、地域に開放された学校づくりを進めていきたい。
------------------	--

2 学校教育目標	地域に根つき、笑顔と感動があふれる厳木中学校～主体的、協働的に取り組む生徒の育成～
----------	---

3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体的に学ぶ魅力ある授業を展開し、学習意欲を高める。 ・生徒に活躍の場を持たせ、承認する場面を増やし、自己肯定感を高める。 ・時と場を考えさせ、生活規律を確立し、自己指導力と規範意識を高める。
------------	--

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
重点取組			具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)								
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践 ○校内研究及び校内研修の充実 ○家庭学習を充実させるための取組	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師70%以上 ○家庭学習の時間が一日1時間以上の生徒が65%以上。	・各教科とも、各単元における「課題解決に必要な力」の明確化と学習評価を踏まえた授業計画を作成し授業を実施する。また、全職員が年1回の研究授業を行うことで、授業の改善を図る。 ・Oフレンズと自学ノートの取組の推進。 ・生徒会による家庭学習を充実させるための取組。(家庭学習に関する調査や集計発表、テスト予想問題の作成と実施など)							
	○生徒の学習状況や課題の把握 ○「知識・技能」の定着を目指した取組 ○「思考・判断・表現」の向上を目指した取組	○本年度は12月に過去の県調査問題を実施することで取組の成果を計る。 成果指標 ①県正答率や到達基準を1.00としたときの本校2学年の正答率が、R4の1学年次の結果を上回る。 ②本校1学年と2学年の正答率が、到達基準やR4県正答率を上回る。	・学習状況調査やNRTなどの分析による生徒の学習状況の把握。 ・各教科における単元テストの実施。 ・QタイムとQテストの実施。 ・「思考・判断・表現」を必要とするような学習課題を設定した授業の実施。							
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおける肯定的な回答をした生徒80%以上	・道徳に関するアンケートの実施 ・道徳科の授業力向上のための資料提供 ・自分の考えを可視化できる教員の提供 ・保護者への保護者と連携したふれあい道徳の実施 ・学級通信等による道徳科の授業の紹介							
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○職員に相談しやすいと感じる生徒率80%以上。	・毎月、「いじめ・生活アンケート」を実施 ・6月と11月に担任との教育相談週間を実施 ・全職員における生徒指導の体制作り							
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●朝食喫食率95% ●「健康に良い食事をしている」児童生徒90%以上	・生活状況調査の実施 ・食に関する意識調査の実施							
	○健康意識の向上と体づくり	○体力・筋力が向上したと考える生徒が80%以上	・スポーツテストの実施 ・体育の授業前に補強運動を実施							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・週2日以上での部活動休養日の実施。 ・水曜日の定時退勤実施の推奨 ・長期休業中に年休取得が増えるよう会議の設定を工夫する。							

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
重点取組			具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)								
○特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○特別支援に関する専門性が向上した教員80%以上	・特別支援に関する研修会 ・個別の支援計画・個別の指導計画の記入についての研修会							
○生徒会活動の活性化	○生徒に学校行事や生徒会活動の中で活躍の場を持たせ承認する場面を増やし、自己肯定感を高める。	○「専門部や係の仕事や責任をもち取り組むことができている」と「自分は誰かの役に立っていると思う」という肯定的な回答をした生徒70%以上	・生徒集会、生徒総会、新入生対面式等の行事や専門部の活動の中で活躍する場をたくさん設ける。							
○地域連携	○いきいきからつ子育て事業を活用した教育活動の実施。	○地域での教育活動に対する生徒満足度を80%以上	・各学年で地域での教育活動を設定する。 1年ふるさと探訪 2年職場体験 3年ふるさと企業訪問							

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・
----------------	-------------